

## 災害公営住宅への入居意向調査結果を踏まえた

### 石巻市災害公営住宅地区別整備計画について

#### 《市長コメント》

先般実施いたしました、災害公営住宅への入居に関する意向調査の結果に基づき、石巻市災害公営住宅地区別整備計画を策定しましたのでお知らせいたします。

まず意向調査結果についてであります。これは本年6月から8月にかけて実施した、「今後の住まいに関する個別面談会」の集計結果と、8月に実施した「個別面談会」対象区域外で、災害公営住宅への入居資格を有する世帯を対象とした、郵送による意向調査結果を合わせて、合計13,550世帯を対象とした結果をまとめたものであり、回答数は8,767世帯、回答率は64.7%となっております。

回答を頂いた8,767世帯のうち、災害公営住宅への入居希望は3,825世帯で、そのうち市内の災害公営住宅に入居を希望する方が3,630世帯でありました。

また、入居を希望する地域といたしまして、市街地では蛇田地区が1,530世帯で希望割合として52.6%、次いで中心地区が358世帯で12.3%、渡波地区の299世帯10.3%などとなっております。

次に、石巻市災害公営住宅地区別整備計画についてご説明いたします。

まず、全体整備戸数であります。意向調査で市内の災害公営住宅へ希望する世帯数は、約3,600世帯でありましたが、未回答者が約4,800世帯に上ることから、当面の整備目標はこれまでどおり4,000戸を進めて参ります。

今後未回答者の意向把握に努め、適正な時期に最終的な整備戸数を確定いたします。

次に地区別整備計画であります。今回の意向調査結果を基に、暫定方針を見直すことといたしました。

具体的には、石巻地区の市街地を6地区に分け、さらに河南地区を加えて、それぞれの整備目標戸数を設定しております。

暫定方針との比較といたしましては、蛇田地区や中心地区で整備戸数を増やしたほか、河南地区を新たに加えるなど、地域バランスを考慮し、市域の均衡ある公営住宅の整備を図りたいと考えております。

また、河北地区も含めた半島部、沿岸部は個別面談結果を踏まえた実数としております。

今後は、地区別整備計画を基に、買取り制度による住宅の確保や、被災市街地復興推進地域における土地区画整理事業で建設用地を確保するなど、被災者の方々が1日でも早く安心して住める、災害公営住宅の整備に努めて参ります。